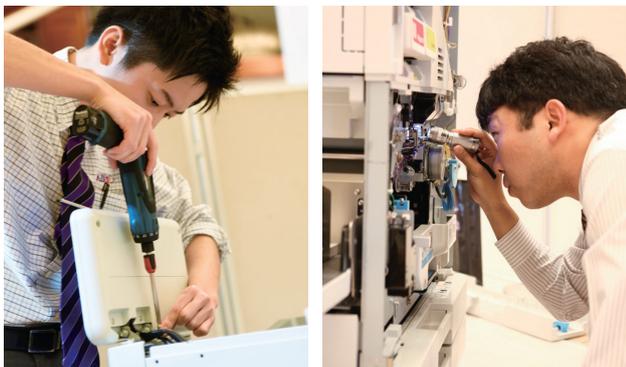




お客様の満足のために

技術コンテストを通して CEの技術力・サポート力を向上

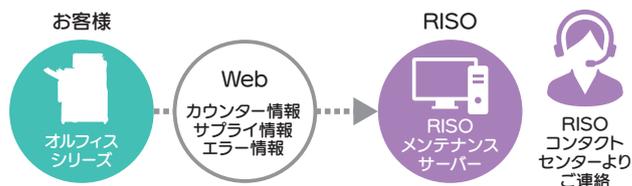
当社では、修理や保守点検に迅速に対応し、より良い印刷環境を提案するカスタマーエンジニア(CE)の専門知識・技術力・顧客対応力の向上を目的に「RISO TECHNICAL CHAMPIONSHIP」を開催。2017年1月の第14回全国大会では1,500名を超える参加者の中から地区予選を勝ち抜いた22名が出場し、筆記・機械のトラブルを解決する実技・スピーチの各試験に挑み、スキルを競い合いました。



実技試験の様子

機器の状態を遠隔から見守り、 トラブルにも速やかに対応

お客様の「オルフィス」のコンディションを当社のメンテナンス用サーバーにインターネットを経由して送信する「RISOリモートエージェント」を通じて、より質の高いメンテナンスを実現しています。また「RISOリモートエージェント」により送信されたメンテナンスコールエラーに対して、RISOコンタクトセンターから電話連絡させていただくことで、速やかにトラブルに対応する「リモートメンテナンスコールサービス」も提供しています。



「RISOリモートエージェント」「リモートメンテナンスコールサービス」の概要



COLUMN

世界に広がるサービス&サプライ販売体制

長期にわたり安心して製品を使っていただくためには、ハードウェアの信頼性はもちろん、安定した消耗品の供給と万全のメンテナンス体制があってはじめて可能となります。

当社純正消耗品、推奨部品のご使用と当社認定のカスタマーエンジニアによるメンテナンスサービスによって製品の性能を最大限に機能させると同時に故障を極力抑えることを可能にし、ベストコンディションでお使いいただけます。

カスタマーエンジニアは日本・アメリカ・イギリス・タイに設置した研修センターで技術研修を行い、随時メンテナンス力の向上を図っています。



バンコクトレーニングセンター



働きがいのある職場環境をめざして

両立支援制度を整備し ワークライフバランスを充実

社員一人ひとりの充実が組織の活性につながるという考えのもと、出産や育児、介護等で勤務時間や勤務内容の変更が必要になった場合でも、仕事と生活の両立ができるよう「育児休業」や「介護休暇」など各種制度を整備し、女性・男性社員ともに安心して仕事ができる環境づくりに努めています。

当社は2011年に子育てサポート企業としての認定を受け、次世代育成支援企業認定マーク「くるみん」を取得



次世代育成支援企業認定マーク「くるみん」

して以降、育児休業の取得や有給休暇取得推進のための意識啓発など行動計画を着実に実施。その取り組みが評価され、2013年、2015年と継続して更新取得しています。

2016年度は、育児休業制度利用者が41名（うち男性3名）で延べ3,333日取得しました。

仕事と育児の両立を支援する 「復職支援セミナー」

育児休業制度を利用して復職を予定する社員を対象に、先輩社員の体験談やアドバイスを通じて復職への不安を払拭してもらうことを目的とした、復職支援セミナーを毎年開催しています。2016年度は復職予定の7名（男性社員1名含む）が参加しました。「復職後がイメージでき、復帰するのが楽しみになった」など仕事復帰への前向きな感想が寄せられました。



復職支援セミナーの様子



COLUMN

女性活躍推進への取り組み

「女性活躍推進法に基づく行動計画」を策定・社内外に周知し、女性の活躍促進に向け取り組みを進めています。

2016年5月には、女性社員を対象にエンカレッジ研修が行われ24名が参加しました。自身のキャリアやビジョンについて考え、自身と周りがいきいきと働き続けられる環境づくりについて積極的な意見交換が行われました。この後、受講者の上司を対象に、管理職として女性社員とのかかわり方やマネジメントスキルを習得する、エンカレッジ研修（管理職編）が実施されました。

また、女性管理職を対象に、先輩社員として女性後輩社員からの課題や悩みの相談支援を担うメンター研修も実施されました。



エンカレッジ研修の様子

地域社会の一員として

オフィシャルスポンサーとして 鹿島アントラーズを応援

理想科学の製造や開発の中心拠点がある茨城県の鹿嶋市を本拠地とするプロサッカークラブ「鹿島アントラーズ」と、2016年シーズンからクラブオフィシャルスポンサー契約を結び、2017年も更新しています。ホームゲームではつくば駅・カシマスタジアム間の送迎バスの運行支援を行うなど、鹿島アントラーズを応援しています。



バス運行ポスター

中学校での環境学習に協力

2016年11月、川崎市立柊形中学校で開催された「平成28年度エネルギー環境教育ワークショップ」に協力しました。中学1年から3年までの生徒28名が、ガリ版印刷とリソグラフ印刷で新聞づくりを行いながら、環境に優しい印刷について学びました。



ガリ版印刷を体験する中学生たち

地域に根差した社会貢献活動を展開

● 箱根駅伝の号外印刷に「オルフィス」が活躍

2017年1月、第93回箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競争）において、レース結果を速報する号外の印刷に、理想科学の高速プリンター「オルフィス」が活用されました。大会を共催する読売新聞社と協力し、現地で記事を編集し、クルマに搭載された「オルフィス」で即座に大量印刷。往路・復路それぞれのゴール付近で観戦していた多くの方々に配布しました。



ゴール付近で配布された号外

● 義援金の寄付を通じた地域貢献

2016年4月の熊本地震災害に対して、被災した当社製品の無償部品交換を実施するとともに、100万円の義援金を日本赤十字社を通じて寄付しました。

COLUMN

理想教育財団※、陸前高田市の地区コミュニティに「リソグラフ」を寄贈

東日本大震災で、人口の約7%が犠牲になった岩手県陸前高田市。理想教育財団は2016年6月、同市内に11を数えるコミュニティ推進協議会のひとつ、小友地区コミュニティ推進協議会に「リソグラフ」を寄贈しました。

協議会主催の文化祭や同協議会が企画・運営する生涯学習講座の資料づくりなどに活用され、地域の復興とコミュニティの再構築に役立てられています。

※学校や地域社会での教育・学習活動に関する調査・研究および助成を行う公益財団。1984年に「理想科学工業教育財団」として設立され、2011年4月に内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行。



陸前高田市小友地区コミュニティ推進協議会の皆さんからの感謝状を受ける理想教育財団の酒井顧問（右端）